

■ 講座内容について

第1講座

業界動向

株式会社船井総合研究所 福祉・保育チーム リーダー 藤光 孝法
保育業界を取り巻く現状と、現在注目されている児童発達支援・放課後等デイサービスについて。



第2講座

児童発達支援・放課後等デイサービスの成功事例

ゲスト講師

株式会社スマイルリンク 代表取締役 野村由希 氏

静岡県三島市にて、児童発達支援・放課後等デイサービスへの参入後わずか3ヶ月で30名以上の契約を獲得した株式会社スマイルリンク。その成功事例を大公開します。



第3講座

成功のポイント

株式会社船井総合研究所 福祉・保育チーム 納村 彩花
園業界から児童発達支援・放課後等デイサービスに参入する際に押さえるべきポイントと注意点。



第4講座

まとめ

株式会社船井総合研究所 福祉・保育チーム リーダー 藤光 孝法
本日のまとめ。



■ 開催日時について

全日オンラインでの開催です！

※各回、同じ内容です。ご都合のよい日時をお選びください。
ただし満席などで期限前にお申込みを締め切る場合もございます。お早めにお申込みください。

2025年7月15日(火)・18日(金)・22日(火)

開催時間：13:00～16:00(ログイン開始：開始時間30分前～)

申込期限 ・銀行振込み：開催日6日前まで ・クレジットカード：開催日4日前まで ※祝日や連休により変動する場合もございます

■ 金額について

一般
価格
(1名様)

税込 **33,000円**
(税抜 **30,000円**)

会員
価格
(1名様)

税込 **26,400円**
(税抜 **24,000円**)

※会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

ゲスト講師のご紹介

株式会社スマイルリンク 代表取締役 野村 由希氏



人を大切にする経営学会 主催 第13回

日本でいちばん大切にしたい会社大賞 審査委員会特別賞

実際に成功
ゲストが語る
4つの
リアル成果

- 保育園で培った力をそのまま活かす！
子ども支援も職員育成もスムーズに実現！
- 半年で単月黒字化！最速ペースで利益化成功！
- 開業初月で新規問い合わせ30件超！
地域から引き合い殺到！
- 保育士・セラピストも次々応募！採用成功の裏側も公開！



セ
ミ
ナ
ー
開
催
日
時

2025年7月15日(火)・18日(金)・22日(火)

開催時間：13:00～16:00(ログイン開始：開始時間30分前～) ※講座内容は同じです。ご都合のよい日時を選んでいただきお申込みください。

児童発達支援・放課後等デイサービス新規参入セミナー

お問い合わせ No.S130318

主
催



サステナブルグロースカンパニーをもっと。
Funai Soken

株式会社船井総合研究所

〒541-0041 大阪市中央区北浜 4-4-10 船井総研大阪本社ビル

当社ホームページからお申込みいただけます。

(船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp] 右上検索窓に [お問い合わせNo.] を入力してください)

130318



お
申
込
み
方
法

右記の QR コードを読み込み、お申込みください！

または船井総研ホームページ (www.funaisoken.co.jp) にある右上の
検索窓に『130318』を入力、検索ください。

お申込み HP URL <https://www.funaisoken.co.jp/seminar/130318>

お
問
い
合
わ
せ

船井総研セミナー事務局

E-mail seminar271@funaisoken.co.jp

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。
※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索してください。

TEL : 0120-964-000 (平日 9:30 ～ 17:30)



少子化 × 園児減少 × 職員不足

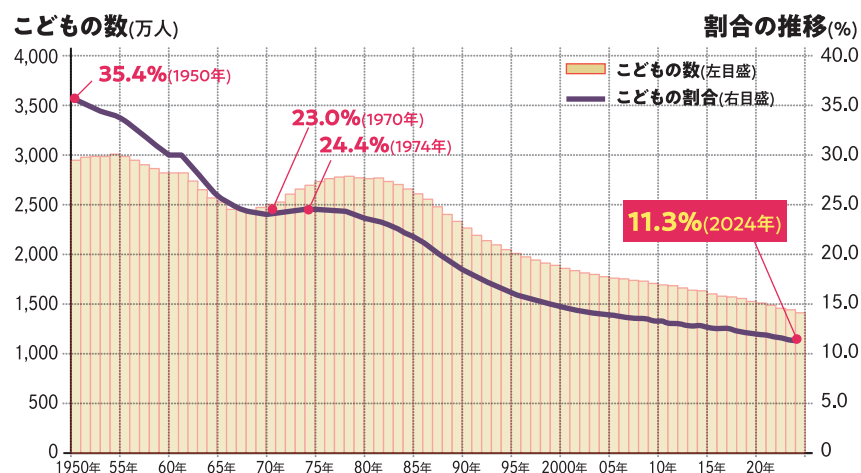
保育園経営が「**持続困難**」になる前に、取るべき選択とは

少子化が43年連続で進行。地方園は定員割れ、都市部でも採用難

現在、我が国では少子化が深刻なスピードで進行しています。総務省の調査によると、2024年4月時点での15歳未満のこどもの数は前年比33万人減の1401万人。これは1982年から43年連続の減少であり、ついに過去最少を更新しました。この影響を最も強く受けているのが、地域に根ざした保育施設です。特に地方部では定員割れや統廃合の危機に直面している園も増加しており、持続可能な運営が難しくなっているケースも少なくありません。

一方、都市部においては定員は満たせても職員不足が深刻化しています。保育士の確保が難しく、採用活動に追われる日々の中で、「このままでは経営の土台が揺らぐのでは」という危機感を抱く園も増えています。

こどもの数及び割合の推移



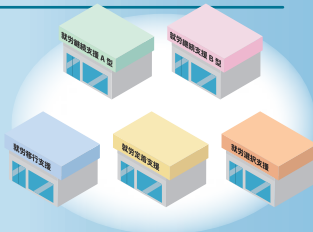
資料:「国勢調査」及び「人口推計」
(注) 2023年及び2024年は4月1日現在、その他は10月1日現在

「発達特性のある園児への支援」が既存職員だけでは難しくなっている

もう一つ見過ごせないのが、発達特性や支援ニーズの高い園児の増加です。現場の先生方からも、「クラス運営と並行して支援ができない」「専門的対応が難しい」といった声が増えています。実際、保育園・こども園の先生たちは、日々の業務に加えて多様な家庭背景・個別の特性をもつ子どもたちへの対応を強いられており、現場の疲弊や離職にもつながる課題となりつつあります。

国の制度が整い始めた今、福祉分野への参入が注目されている

そうした中で今、注目を集めているのが「児童発達支援」や「放課後等デイサービス」など、発達特性のある子どもへの専門的支援を提供する福祉事業です。これらの事業は近年、国の方針として制度が整備され、事業所運営に対する給付制度や指導監督基準も明確化されてきました。また、0～6歳の未就学児を対象とする児童発達支援は、保育園とも接続しやすい領域であることから、「園の中に新たな機能を設ける」という発想で導入を検討する事業者も増加傾向にあります。



ただし“福祉事業は難しい”と感じて踏み出せない園も多い

一方で、「福祉事業には専門的な知識や資格が必要なのは」「開業手続きや運営ノウハウが全く分からない」といった不安やハードルから、一步を踏み出せずにいる事業者が多いのも事実です。また、保育士と福祉職員の違いや、職員確保、収益性の見通しなど、既存園の経営者にとっては未知の分野であることも、「関心はあるが踏み切れない」要因になっています。だからこそ今、同じ保育事業者として、ゼロから福祉事業に参入し、成功を収めている法人の実例を知ることが、最初の大きな一歩となります。



保育の現場で培ったノウハウが、“児童発達支援・放課後等デイサービス”でも力になる

ゼロから挑戦し、採用・運営・収益化すべてに成功した実例

少子化の時代に見つけた、新たな使命

「保育で培った力を、より多くの子どもたちへ」静岡県で保育園を運営する株式会社スマイルリンク代表・野村氏は、子ども一人ひとりに寄り添う保育で、地域の信頼を得てきました。「共に育つ」インクルーシブ保育に関心を寄せていた野村氏は、「この理念は、もっと広く届くはず」と感じていました。少子化や園の増加による経営不安の中、児童発達支援・放課後等デイと出会い、「保育の経験は福祉にも活きる」と確信。船井総合研究所の支援を得て、「理念を広げる挑戦」として参入を決めました。

保育理念の応用が、新たな支援のかたちに

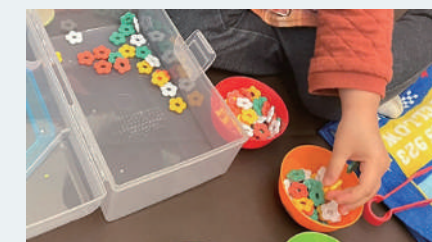
スマイルリンクは「カラダの脳」「学習する脳」「こころの脳」の3視点で、“haguメソッド”という独自の保育法を構築。この考え方は感覚統合や自尊心の育成に繋がり、職員・保護者支援にも応用。児発・放デイでも“スマイルリンクらしさ”を活かした支援に展開されました。重要なのは、“haguメソッドだから成功した”のではなく、どの園にもある理念や実践が福祉にも活きるということです。



児童発達支援・放課後等デイサービスとしてスタートした「haguみしま」



保育事業で養った知見をもとに、「運動」「学習」「食育」の3軸から小集団療育を展開



専門家の視点から子ども一人ひとりの発達段階に応じたプログラムを実施

保育×マーケティングで、着実な成果

開業半年で単月黒字・30件超の問い合わせ！

保育の強みと船井総合研究所のマーケティングを組み合わせ、半年で黒字化。30件超の問い合わせも獲得。「保育で当たり前やってきたこと」が強みとなり、スタッフの自信や保護者の安心にもつながりました。理念を拡張する視点が、次の成長の鍵になると野村氏は語ります。「“haguメソッド”として理念を整理したことが応用に繋がりました。でも大切なのは、どの園にも“その園らしさ”があるということ。それを言語化して応用すれば、子どもたちの力になります」この実践は、“保育の文化や視点”が福祉にも活きることを示しています。あなたの園にも活かせる強みがある、保育で育てた文化や姿勢、人材育成の視点——。それらを「活かす」だけで、新たな挑戦が始まります。インクルーシブな社会の実現へ、貴園も次の一步を踏み出しませんか？

ゲスト講師

株式会社スマイルリンク
代表取締役
野村 由希氏

株式会社スマイルリンク代表野村氏。「関わる全ての人の笑顔を引き出し、元気を与え感謝できる私たちであり続ける事。物心両面の幸福の追求」をモットーとしている。



“生きる力”を育む



hagu療育プログラムは独自メソッドで、感覚統合を通じ子どもの自己肯定感や自尊心を育み、学習や運動の土台を築く支援プログラム。